

※ 未提出者への督促後に新たに提出（入力）されたレポートも含めた集計結果です

設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。 ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問 4 シラバスに沿って授業を行えた。

①:13 (87%) ②:2 (13%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 5 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:6 (40%) ②:7 (47%) ③:1 (7%) ④:0 (0%) 未回答:1 (7%)

設問 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:8 (53%) ②:6 (40%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:1 (7%)

設問 7 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:10 (67%) ②:5 (33%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 8 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:7 (47%) ②:7 (47%) ③:1 (7%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 9 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:9 (60%) ②:6 (40%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 10 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:9 (60%) ②:5 (33%) ③:1 (7%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 11 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:6 (40%) ②:5 (33%) ③:3 (20%) ④:1 (7%) 未回答:0 (0%)

設問 12 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:6 (40%) ②:9 (60%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 13 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:9 (60%) ②:6 (40%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

B（問 14～18）：FD 活動についてお尋ねします。

設問 14 この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 3 (20%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 6 (40%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
- ④その他： 0 (0%)
- 未回答： 7 (47%)

設問 15 今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 5 (33%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 9 (60%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
- ④その他： 0 (0%)
- 未回答： 4 (27%)

設問 16 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、 回答：8 クラス（順不同）

- [1] PC 操作の苦手な学生が理解できるような授業の進め方を行うとともに、PC 操作が得意な学生には別途課題を指示した。
- [2] アクティブラーニングのための資料作りを念入りに行なった。・・・2 クラス
- [3] 昨年は、レポート提出に関する注意喚起を油断した結果、学期末のレポート提出にトラブルが生じた（グループワークのレポートが不完全なまま提出し、メンバーが実家に帰った）。今年は、そのようなトラブルが無いように、再三、注意した。
- [4] 昨年の問題点：TBL において、チーム活動に非協力的な学生への対応・・・今年も非協力的な学生が見受けられたため、口頭で注意を促した。
- [5] 昨年度よりやや進行を早めることができたので、自ら設定した地域に関するテーマについて調査し、文献を参照しつつ自分の意見を記述するレポートを課すことができた。
- [6] 受講生の理解度を確認しながら授業の進行に努めた。
- [7] WEB テキストの更新。

設問 17 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 7 クラス（順不同）

- [1] 大人数の学生に対して、アクティブラーニングを実施できた。・・・2 クラス
- [2] 複数名の教員で講義を担当することで、実施講義についての意見交換ができた。
- [3] 詳細なコンピューター利用の仕方についての講義は、自分で出来る範囲に限られてくるため、3名の先生方にご協力をお願いした。無理して自分でやるよりは、明らかに良かったと思われる。細かい個々の学生への指導は、TA が効率よく助けてくれた。反省すべき点は、準備資料を細かく自分で解析したものを材料にしておけば良かったかな、と思う。

[4] PC 操作が苦手な学生と得意な学生、それぞれが満足できるような講義を目指して、改善していきたい。

[5] 統計処理に関する簡単な講義をすべきであるが、結局、こちらが授業準備をする時間が都合できず、資料を配布するに留まった。

[6] 講義専用のホームページを作成し、学生が自宅等で復習しやすいようにした。担当初年度であったため、授業の進行、および課題等の難易度を理解の遅い学生に合わせた。来年度以降は、理解の遅い学生をフォローしつつ、授業内容のレベルを上げていく必要がある。

設問 18 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： なし

C (問 19～21)：中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。

設問 19 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 15 (100%) ②いいえ： 0 (0%) 未回答： 0 (0%)

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

- ①聞いて理解する： 2 (13%)
- ②読んで理解する： 3 (20%)
- ③自分の考えをまとめて話す： 5 (33%)
- ④自分の考えを文章にまとめる： 10 (67%)
- ⑤討論する： 2 (13%)
- ⑥皆の前でプレゼンテーションする： 9 (60%)
- ⑦その他： 0 (0%)
- 未回答： 0 (0%)

設問 21 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 9 クラス（順不同）

[1] 個人、グループで Web レポートを作成させた。グループワークでは、メンバー内での議論をしたはずである。それに、備えて、ブレインストーミングの簡単な説明をした。

[2] データに対する考察をレポートにする。実際の発表はしていないが、スライド作成と原稿発表を WEB に公開。

[3] Power point の課題として、トビタテ！留学制度への申請のプレゼンファイルを作成させた。自分の考えを整理し、わかりやすく人に伝え、審査員に納得させる内容となるように指導した。

[4] ビデオを作成させて、プレゼンをさせた。

[5] パワーポイントの使い方の講義において、将来の研究について、学生たちのやりたい研究をまとめさせ、プレゼンテーション能力を

助長させた。

- [6] ・制限時間内でのパワーポイントを使った自己紹介を実施し、学科教員の参加も依頼している。
・自ら設定した地域に関するテーマについて調査し、文献を参照しつつ自分の意見を記述するレポートを課している。
- [7] アクティブラーニングでプレゼンを実施した。
- [8] グループ学習と発表。他のグループの発表に対する質問の奨励。
- [9] チームごとに設定したテーマに関して情報収集を行い、スライドにまとめ、プレゼンテーションを行った。

D (問 22～25) : 中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 22 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 15 (100%) ②いいえ： 0 (0%) 未回答： 0 (0%)

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23 その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

① 1～5 回： 15 (100%) ② 6～10 回： 0 (0%) ③ 11～15 回： 0 (0%)
未回答： 0 (0%)

設問 24 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

①歴史・文化： 2 (13%) ②政治・経済・産業： 9 (60%) ③自然環境・フィールド体験： 5 (33%)
④その他： 6 (40%) ・ ・ ・ 「統計の資料」2 クラス、「地域のデータを基に、統計処理（と解析）」2 クラス、
「感染症」、「環境」
未回答： 0 (0%)

設問 25 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 3 クラス

[1] 宮崎県の口蹄疫発生、幸島のさる、都井岬の馬の3つを題材として、資料集めをしてもらった。資料の中でも、数字を中心にそれぞれの内容の特色を説明していくことを重視した。これもグループ学習、発表を通して、数字をグラフ、表などにし、いかにわかりやすく自分が調べたことのおもしろさを説明していくか、その過程を学んでもらった。

[2] 自ら設定した地域（地域、の解釈自体は学生に任せている）に関するテーマについて調査し、文献を参照しつつ自分の意見（なぜその点に着目したのか、課題を解決するためにはどのような施策が考えられるか）を記述するレポートを課している。

[3] グループワークとして調査テーマを選び、調査、ディスカッションを行った；Web レポートを作成し、提出（公開）させた。 ・ ・ ・ 地域を教材とした普通の授業方法と思われる。地域資源創生学部が軌道にのれば、地域指向の教育は、その学部に任せて、このような無意味な講義を工学部に押し付けるのはやめて欲しい；工学系の基礎学力をつけさせるのに、時間&資源を投入したい。